

学校概要

創立 27 周年	学校長 小林 康子	副校長 長田 波香	学期 2 学期制	児童・生徒数 568 人
学級数 一般級: 18 個別支援級: 3			主な関係校: 横浜市立中川西中学校	

学校教育目標

かがやくひとみ つながる心 高まる力

- すすんで学び合い、考えを深める子 (知) (開)
- 自分も友達も大切に、集団の中で自分らしさを発揮できる子 (徳) (公)
- 健康に関心をもち、心身共に成長する子 (体)

学校の特徴

□港北ニュータウン中川地区の開発と同時に開校し、まちとともに成長してきた学校である。
 □学校は里山の自然を残した山崎公園に接している。また、地下鉄「中川」駅を中心として商業地域が展開し、住宅街の外れには、野菜、果樹を中心とした農家、農地も点在する。生活科・総合的な学習の時間に活用できる材が学区内に顕在する。
 □児童のほとんどは、教育に対して関心が高く、安定した家庭から通う。学校に対する期待も多様である。学習状況調査における各教科の通過率も概ね高い。保護者による学校へのボランティア活動が協力的に行われ、教育環境整備を支えている。

学校経営中期取組目標

○学校教育目標を実現するために、児童、職員ともに元気の出る学校づくりを目指します。
 ・教職員一人一人の授業力と集団としてのチーム力を高め、子どもたちが「楽しい」と思える学校づくりを進めています。
 ・人と人との関わりを大切に学校づくりに努め、子どもたちの豊かな心を育むようにしています。
 ・一人一人が、実生活に生きてはたらく確かな学力を身に付けることができるよう努めています。
 ・中川西中学校ブロックや地域・家庭・関係機関等との連携を深め、開かれた学校づくりを推進しています。

小中一貫教育の取組

中川西中学校	ブロック	: 中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校 中川西小学校
9年間で育てる子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ・つながりの中で、あいさつをしっかりとる子ども ・つながりの中で、認め合い、励まし合い、高め合う子ども ・つながりの中で、自らの課題を見つけ、解決しようとする子ども 	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の授業公開を伴う小中合同研修会において各教科等のカリキュラムの検証を行い、一貫した指導観の共有を図ります。 ・夏季合同研修会では、学習指導要領改訂へ向け、外部講師を招いて小中一貫教育のあり方について研修します。 ・小中児童生徒交流会、体験会を通して、子どもたちが安心して中学校に進学できるように備えます。 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>確かな学力</p> <p>担当 学力向上プロジェクト</p>	教科等の基礎・基本の定着や活用を図る。また、探究的な学習や「学び合い」を重視した授業を実践し、主体的・協働的に学ぶ力や表現力を高める。	①各教科等の身に付けたい力を明確にし、基礎・基本の習得・活用を図り、子ども自らが課題を見つけ、解決していく探究的・協働的な授業改善に努める。子どもが伝え合い、学び合う言語活動の充実を図った授業づくりに取り組む。②学年間の系統性を意識した「かがやきタイム」の年間計画を構築し、読書習慣と学習内容の基礎・基本の定着を図る。
<p>豊かな心</p> <p>担当 よりよい人間関係プロジェクト</p>	人とのつながりを大切にして、自分の願いや思いをもち、目標達成に向けた行動力や思いやりの心をもつ子どもを育てる。	①各教科等の授業やたてわり活動、クラブ、宿泊体験学習など、様々な教育活動において、学年内交流、異学年交流など多様な集団づくりを心がけ、豊かな関わりを通して、よりよい人間関係力を育む。②道徳の時間を通して、道徳的価値について考え、児童自身が判断・実践できるよう継続的に指導・助言を行う。
<p>健やかな体</p> <p>担当 保健安全プロジェクト</p>	自分の体調に関心をもち、健康に生活する大切さと体力を高めようとする意識や態度を育て、体力の向上を図る。	①自分の体調に関心をもち、「学習場面、日常生活において姿勢を良くすること」を意識させながら、一校一実践運動の「なわとび」を通して体力の向上を図る。②学校保健委員会を中心として、児童自身の意識向上、家庭と連携して日常的に健康保持増進、心の健康に取り組む。
<p>児童理解・指導</p> <p>担当 よりよい人間関係プロジェクト</p>	全職員で児童を見守り、情報を共有し、問題を早期発見し、組織的な対応を図る。あいさつが定着し、気持ちのよい学校生活を送ることができる。	①児童一人ひとりの課題について、全職員が共通理解する場を定期的にもち、共通の視点で児童の行動面の支援をするよう努める。②進んであいさつができるように、児童会活動を中心にあいさつ運動に取り組む。教職員自ら積極的にあいさつを交わす。
<p>安全管理</p> <p>担当 保健安全プロジェクト</p>	防犯・防災計画を整備し、各種訓練や職員の研修・訓練によって、適切で迅速な対応がとれるようにする。	①防犯マニュアル・防災計画を整備し、児童への訓練および引き取り訓練や職員の研修・訓練によって、適切で迅速な対応がとれるようにする。②毎月の安全点検をもとに施設改善を行い、全職員で安全・安心な環境づくりに努める。
<p>教育課程学習指導</p> <p>担当 学力向上・学習評価プロジェクト</p>	授業力を向上させるために、校内重点研究にPDCAサイクルを取り入れ、日々授業改善に取り組むと共に、保護者・地域への授業公開を実施する。	①重点研究として道徳の授業の研究に取り組み、他を認めながらも、自分の考えも大切にし、主体的に話し合い、学びが深まる授業づくりを目指す。授業力向上のため、外部講師を招き、授業研究会を行い、指導を仰ぐ。③参観者にもめあてを明らかにして、保護者・地域への授業公開を実施する。
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 よりよい人間関係プロジェクト</p>	教育活動全体を通して、誰もが安心して過ごせる環境を作る。専任を中心とした組織的体制で全職員でいじめ未然防止や早期発見、対応にあたる。	①児童理解研修や人権研修、児童の情報の共有を充実させ、全職員で未然防止・早期発見に努める。②各教科や全教育活動を通して、道徳・人権教育との関連を図り、子どもの自他を大切にすることを育て、人権意識を高める。③いじめがあった場合は、専任を中心に組織的な対応を行い、場合によっては外部機関とも連携しながら、早期対応にあたる。
<p>人材育成・組織運営</p> <p>担当 研究</p>	校内研修の計画的な実施により、ステージに応じた教職員の力量を向上させる。情報の共有や校務処理などの仕組みを整備し、効率よく業務を推進する意識を高める。	①校内研修を計画的に実施し、コンプライアンス、児童理解、いじめの早期発見、危機管理対応能力等、教職員の力量を向上させる。②定期的にメンターチーム研修を行い、先輩教諭の指導助言のもと学習指導と生活指導の実践力を高める。③各分掌の引継ぎを計画的に行い、年度を追うごとに組織の機能性を高める。会議の効率化に努める。